

図書館おすすめ！絵本とわらべうた

図書館にはリストに載っている本の
他にもいろいろな絵本があります！
図書館でたくさん絵本を借りて、
お気に入りの一冊を見つけましょう！



図書館アクセスガイド



◆中央図書館 こどもとしょかん

鬼高1-1-4 Tel320-3333（音声案内）
320-3346（お急ぎの場合）



交通：JR本八幡駅・JR下総中山駅より徒歩15分
京成線鬼越駅より徒歩13分

◆行徳図書館 末広1-1-31 Tel358-9011



交通：
東西線行徳駅より徒歩5分

◆信篤図書館 高谷1-8-1 Tel328-8831

交通：東西線原木中山駅より徒歩2分

◆南行徳図書館 相之川1-2-4 Tel357-4188

交通：東西線南行徳駅より徒歩15分
JR本八幡駅より浦安駅行きバス「欠真間」下車徒歩2分

◆平田図書室 平田1-20-16 Tel321-2243

交通：京成菅野駅より徒歩8分・JR本八幡駅より徒歩10分

◆市川駅南口図書館 市川南1-10-1 I-linkタウンいちかわ

ザタワーズ ウェスト3階 Tel325-6241
交通：JR市川駅より徒歩2分

読み聞かせの会・イベントのご案内

市川市の図書館では、お子さまの年齢
に応じて、絵本の読み聞かせの会や
イベントを開催しています。
ぜひご参加ください！



赤ちゃん向け



本の ほかほかだより

としょかんおすすめ！
絵本のレシピ

市川市中央図書館 ・ こどもとしょかん
047-320-3346



赤ちゃんに絵本を

赤ちゃん期にとって一番大切なことは十分な愛情を受け、穏やかな時間を過ごすこと。絵本はそのためのとてもすぐれたツールではないでしょうか。

絵本を読んでもらうと…大好きな人がそばにいてくれて、大好きな人の声が聞こえます。きれいな色、知っている物の形、おいしそうな食べものの絵。ページをめくったときの 風によって、大好きな人の香りも感じます。赤ちゃんと読み手が お互いの愛情をしっかりと共有できる濃密な時間です。このような時間を積み重ねることで、人への信頼や生きていくことを喜べる力の土台が育れます。

また、絵本は、視覚・嗅覚・聴覚などの五感も育てながら、子どもの中に言葉を育んでくれるのです。

赤ちゃんとゆったりした時間を過ごすことは大人にとっても短くて貴重な時間です。どうぞ十分にその時期を楽しんでください。



赤ちゃん絵本の選び方

まずは大人からの語りかけや歌やわらべうた、身体を使ったふれあいなどを楽しみましょう。そして、そんな赤ちゃんとのふれあいの道具のひとつとして絵本を使ってみましょう。

以下のような絵本が赤ちゃんに好まれます。

- ①リズムカルでたのしい言葉の繰り返しのもの
- ②見開きや1ページに単純に一つのもが描かれているもの
- ③明るくてはっきりした絵のもの

赤ちゃんは自分の知っていることを絵本の中で追体験して楽しむので、写実的に描かれた絵本も大好きです。

少し大きくなったら、動物や乗り物など自分でも見たり聞いたり経験できるものが出てくる絵本、時間の流れが少しずつ理解できるようになったら、簡単なストーリーのある絵本も楽しめるようになります。



※赤ちゃんの成長や絵本の理解度、好みには個人差があります。赤ちゃんの様子を見てお気に入りの絵本を見つけましょう。

赤ちゃんの成長と絵本

ねがえり期



絵がはっきりしていて、リズムカルな絵本を選びましょう。

- ◆『てんてんてん』 わかやましずこ／さく（福音館書店 1998）
- ◆『じゃあじゃあびりびり』 まついのりこ／作・絵（偕成社 2015）

はいはい期



赤ちゃんが知っているものが描かれている絵本や、リズムのある繰り返しがあ絵本を楽しめます。

- ◆『くだもの』 平山和子／さく（福音館書店 1981）
- ◆『ぼんちんぱん』 柿木原政広／作（福音館書店 2014）

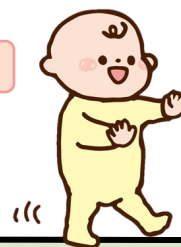
たっち期



簡単なストーリーがある絵本も楽しめるようになります。

- ◆『がたんごとんがたんごとん』 安西水丸／さく（福音館書店 1987）
- ◆『おつきさまこんばんは』 林明子／さく（福音館書店 1986）

あんよ期



身近なものが描かれ、普段よく使うことばが出てくる絵本を。絵本で遊べるようになります。

- ◆『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん／え 森比左志／著 わだよしおみ／著（こぐま社 1974）
- ◆『きんぎょがにげた』 五味太郎／作（福音館書店 1982）

赤ちゃん絵本Q&A

Q. 絵本に興味を示さないのですが…

A. 絵本が楽しいもの、ということにまだ気づいていないのかもしれない。おもちゃ感覚で絵本を手元において遊んでみる。ところから始めてみましょう。

月齢が低い場合は、まずはたくさん声かけをしてあげること、絵本を読んでもらうことを楽しめる土台が生まれます。

Q. 同じ絵本ばかり何回も読みたがります。

A. 成長著しい子どもは、同じ絵本であっても、毎日新しい世界を作り出して楽しんでいます。大人が考える“同じ本”という捉え方はしていないのでしょうか。また、結末がわかっていることで、安心して絵本の中でドキドキする体験を楽しめるという一面もあります。読み手の時間の許す範囲で、子どもが納得できるまで読んであげられたらいいですね。

Q. どんな風に読めばいいのですか。

A. 上手に読む必要も、何が何でも最後まで、と考えることもありません。普段の生活の中で、赤ちゃんに穏やかで優しい声で話しかけるように、赤ちゃんの表情や声を受け止めながら、ゆったりとその時間を楽しみましょう。

少し大きくなるとその時の気分に応じて、会話をはさみながら聞いていたり、逆に一気に最後まで集中したりと、聞く側のバリエーションも増えていきます。その時に応じて大人も一緒に楽しんでいることが一番です。